

ホームペイント・DIY特集

女性社員自らDIY女子部会員

今年も日本ホビー協会主催による日本ホビーショーが東京ビックサイトで開催された。期間中12万人を超える入場者で



ワークショップの様子

大盛況のうちに終了。来場者のほとんどが30〜50歳の女性であった。和信ペイントでは、メディアで話題のDIY女子部員によるワーク

子部のアース(12コマ)に協力企業として出展、さまざまな和信ペイント商品を使用したDIY女子部員によるワークショップに協力した。和信ペイントの女性社員も自らDIY女子部会員となっており、ペイントリーダーとしてワークショップの講師を行った。

その中で女性のホビー

ファンに大好評の塗装方法を2つ紹介する。

まず昨年発売し、DIYショーの商品コンテストで経済産業大臣賞を受賞した水性工芸用「のり」の螺鈿塗りという工芸品の螺鈿塗りである。うるし

ように貼り合わせ、透明のつるしをかけるという簡易的な方法で行った。

プロの漆職人さんから見れば、こんなものとは比べられない。しかし、これまでの油性の漆塗料では乾燥時間や作業性の問題で、実演やワークショップには使用できなかったことが、水性化により解決。待つという



ワークショップ講師(女性社員)

リーダーとして塗装提案

和信ペイント 市場を伸ばす余地感じる

ファンの注目を浴びている。

次がガードラックアクアを使用したアンティーク塗装である。ガードラックアクアはもとと

もので、メーカーサイドから見れば、真逆の塗装方法ですが、女性からはたいへん好評価をいただいている。

古くからペンキを使用したアンティーク塗装はなされていたが、ガードラックアクアの優れた木材保護効果により、アンティークでありながら、しっかりと素材を長持ち

を改めて実感した。ペ

させるところが差別化となる。塗装が流行になることはあまり無いことだが、アンティーク塗装には女性ファンを中心に流行の兆しを感じ取れる。

これまで商品作りや売場への提案も、男性の目線で捉えていたと感じる。しかしDIY女子部と一緒にワークショップ等を行うと、これまで思いもよらなかった発想や考え方の違いに遭遇、そこにこそ市場を伸ばす余地があると感じ取る。

これからの和信ペイントではDIY・ホビー好きの女性の心をつかむような新製品の投入、塗装方法の提案を行い、ご家庭でも簡単に楽しみながらペイントライフを過ごしていただけるよう努力する。

和信ペイント お客様センター長

寺尾 伸彦

今年度の塗料需要予測で家庭用塗料は、消費税アップ前の仮需や、景気上昇による個人消費増により、昨年度実績見込み比、1.3%増の3万1千tとの見通し。余暇時間を日曜大工に割いた団塊の世代が高齢化する一方、趣味や余暇の使い方が多様化し、自宅の補修に時間をとれなくなった後継世代向けに、手間がかからず、楽しくペインティングライフが楽しめるような製品、機器用具、容器などの開発が急がれている。

その中、DIY女子部に代表される、DIY好きの女性層の心をつかむ革新的な製品の市場投入も大いに期待されている。自分で色種を入れて、好み通りにセルフ調色できるシステムや、廃棄が簡単な新容器なども出現。それらの新素材をどのよう